

### ■サロン・ド・IP 報告

「ドイツデザイン哲学とドン ブラハ」  
2004年2月18日午後6時30分、ドイツ分  
化会館にて国際委員会主催のサロン・ド・I  
Pが開かれました。出席者は74名でした。  
講師のドン ブラハ極東ゼネラルマネジャー  
ステファン・シューマツハ氏の話しをリライ  
ンスの利重氏が通訳・解説をするという形で、



スライドを交えながら2時間にわたる充実したセミナーでした。内容は、ドン ブラハの「MEM (エスペラント語で自分自身)」という商品の開発経緯やコンセプトを軸に、1950年代から現在に至るまでのデザインの変化、デザイン哲学とその背景についてでした。セミナー後、ステファン・シューマツハ氏を囲んで懇親会が開かれました。

ステファン・シューマツハ氏の話より「50年代の敗戦後では商品の調達が第一でしたが、60年代に明るさやカラフルなものが求められて、少しデザインに目が向けられ、70年代に入ると様々な要求に対応するためにデザインの水準があがりましたが、80年代には今では考えられないようなクレイジーなデザインが流行りました。90年代に入ると物質文明から脱却し、現在は内面を重視したシンプルでミニマルなデザインが求めら



れています。何かものを選ぶというのは心の反映であると思います。これに対して我々は、様々な社会現象から人間が求めていることを背景に活動している芸術家に依頼し、彼らの表現したものに一切手を加えずデザインにしています。それは彼らが内面性を追求し、表現したものだからです。」  
(文責 羽澤)

### ■会員交流フォーラム

第17回 賛助会員の会 インフォメーションの会

「快適な住居を作るために」をテーマに今回は視点を変えて「安全」という切り口で取り組みました。出席者は61名の参加をいただき2月4日にINAXアーキプラザで開催しました。基調講演を警備の専門家としていまやその代名詞にもなっている、セコムしていますかのTVCMのセコム株式会社の池田寛治氏をお招きして警視庁のデータ（住宅進入盗認知件数に対する検挙率は20年前と比べ70%から30%へ低下）などによる実情と国際的背景（中国の一人っ子政策の結果と社会主義体制崩壊による武器の放出に見られる犯罪の凶悪化）は今や新聞紙上を賑わせるように皆様の認識も高いと思われ

ます。これからは対策も対処療法から予防療法へ、そして被害に会った時の損害保険と被害の拡大防止の取り組みへと意識を切り替えることも必要になって行くだろう。など安全についての再認識は私だけでは無かつ



たと思われます。次に賛助会企業の発表として株コスモトレンドの「ダニ対策」としてダニの生態と行動からの対策として、石塚硝子の防ダニ剤セグロセラの安全性と効果についてとその応用商品の説明。ダニの拡大写真はまるでスターウォーズの世界。余りの熱演に時間が少々オーバーそして最後はダントー（株）からタイルの床暖房工法について、前社の熱演でパワーポイントがダウン？急遽画像の応援無しでもしっかり説明、カタログを見ながらの説明は新鮮、司会のダニにとって床暖房は快適住まいの紹介をはっきり否定、タイルは人とペットには優しいが、ダニにとっては居心地の悪い環境と言返されました。各社それぞれと、印象の深いセミナーそして豪華？軽食ワイーンでの懇親会、会費1000円の元がとれた？インフォメーションの会で有った事をご報告いたします。

### ■平成16年新年懇親会

会員交流委員会 松澤 敏高記  
思えば第一回は、東京デザインセンターにおいて震混じりの寒い夜、お琴の音の彩を添え、手作りの暖かい新年懇親会（92名の出席で開催されました。）を担当委員全員で色々考え、開催しました。回を重ねるたびに手を加えあるいは省きそして我々流のJIPATスタイルに育ってきた感じがします。あれから9回目を2004年1月16日（金）に開催されました。設立10周年を迎えた今年は協会の次のステップ新たな出発として出席者133名の皆様の心に映ったのではないかと思います。

懇親会は中川会長の今年の抱負、そして昨年のIPEC21 デザイナーズショーケース作品のムードパブリックへの招待出展について、帰国早々の報告を交えた挨拶で始まり、次に主賓の（財）建築技術教育普及センターの山中専務理事よりまた来賓を代表して（社）日本商環境設計家協会の奥平副理事長からIP資格制度やわれわれを取り囲む環境を交えご挨拶を頂きました。そして乾杯は日本インテリアプランナー協会協議会の三輪会長のご発声で声高らかに元氣に行ないました。新しく入った会員方々の紹介、IPEC21-2004の志村実行委員より決意表明、本日のお楽しみ、今年の運試し？のビンゴ大会は会員交流委員会の佐藤さんと賛助会員のアルフレックスの宮田さんとコンビで司会が始まり今年一年を占い全員それ

ぞれのお土産をもつての帰ることが出来ました。そして中締めを藤本賛助会代表幹事の祝い締めでお開きになりました。時のたつのは早いもので瞬く間に楽しい時間は幕となりました。今回会場の便宜を図っていただいた東京デザインセンター様、生花・サイン・羽子板などお正月の飾り付けにご協力頂いたランドスケープハウス様、乃村工藝様、立石様そしてこの会の運営にご協力いただきました委員の皆様この紙面をお借りして厚く御礼申し上げます。

### ■10周年記念総会

●5月29日（土）に予定している10周年記念総会の記念テーマを「東京のデザイン」～温故知新とします。  
本協会は主に首都圏に在住するインテリアプランナー資格者の団体です。必ずしも東京地区のデザインを日常の仕事としているわけではありませんが、10周年にあたり、私たちが住む東京を中心とした広がりデザインについて改めて考えてみたいのです。江戸開府401年ということから、江戸時代までさかのぼることもできますが、現代の東京を私たちづくってきた、私たちの記憶にあるくらいの懐かしい街並みや生活を思い返し、現代の東京の姿を考えると、都市は建築だけの集合でもなく建築はインテリアだけの集合でもないことがよく分かります。また懐かしい

時代の整合のとれた世界、現代の複雑極まりない様相、それにこれからの環境プランニングのあり方を考えると、従来のプロフェッションの分類ではまったく捉えきれなく、私たちは何をどうしていったらいいのかという思いに慄然とさせられます。しかし、たしかにことは、インテリアを中心とした生活環境をプランニングデザインしている私たちは、最も人間に近いスケールの環境について毎日のように考えを巡らせ、その望ましいありようを探っているという事実です。その専門家である。その私たちはこれからも人間にいちばん近い生活環境デザインを続けていくことになるでしょう。東京にインテリアプランナーの協会が発足して10年。設立に努力し、この10年の活発な活動に携わってきたたくさんの方々とともに次の時代を考えてみたいのです。私たちはこの貴重な機会に私たち自身の生活基盤である東京と、そのあらゆるデザインについて、隣接する各界のプロフェッショナルとともに故きを温ね新しきを知る試みをしてみたいと希うものです。

●シンポジウムはトーク形式として、現在パネラーを各界の方に交渉中です。トークに先立ち、「東京の今」と題して現代の東京の諸相を映像で流す計画を立てていますが、これは会員の皆様のご協力もいただこうとしております。詳しくはまたご案内いたしますが、皆様の積極的なご参加を期待しております。

実行委員長 浦 一也

■ 3分間のタイムスリップ  
**アングロ・ダッチ様式**

i & i インテリア総合デザイン室 井上 常雄  
 この時代はどうも人間らしい生き方なのか、動物と人間の狭間な生活だったのか、欲望のままに生活があったようである。ピューリタン革命で少しは、人らしい生活に戻ったかに見えたが、今度はもう少し楽しみのある生活が欲しいと、王政復古を願い実行してしまう。そしてまたそれにあきると、もっとよいことがあるのではと思う。そんなとき、ペストの大流行、翌年にはロンドン大火、オランダ艦隊による砲撃という不吉な出来事が、あいついで起こる。そんな時、チャールズ2世がルイ14世と交した密約が発覚した。



マローの影響が見られるアームチェア、布の柄の取り方やコップを逆さまにした脚が特徴

イングランド国教会がカトリック教会に復帰することを条件にフランスが武力援助をするという内容のものであった。ナントの勅令を廃止して、カトリズムを看板にした、大陸制覇政策を露骨に追及しているルイ14世に面と向かって抵抗していたのが、独立したばかりのオランダ総督のウィリアムです。

イギリス議会はこの現状を救って欲しいと招請状をおくりす。かれはおよそ1万2000の軍隊を率いてイングランドに上陸します。これに貴族、ジェントルが各地から集まってきます。国王を守る常備軍も寝返るものが出始めます。絶望した国王はフランスに逃亡します。これを後に名誉革命と名付けます。空位になった王位をメアリーとウィリアム二人に共同統治者として推すことが議会で決定されます。条件付きの文書であった、それは、法と自由が守られる国家体制の保証を求める文章で、それは権利章典となった。この中には、「以降カソリックの君主または、カソリックを配偶者とするものは、王位に就くことは許されない」等、闘争の過程で学び取った教訓の章典であった。



ロンドン大火のあとから籐が盛んに使われる様になった。



かつらイス (Periwig) 座面の高さの2.5倍が背当ての高さになる。

さて、やっと家具の話をする事ができる時間になりました。避けようと思っても避けきれない時代背景があり、お許しください。このウィリアム・メアリー時代を別名アングロ・ダッチ様式と呼びま

す。それは、アングロ・サクソンとかアングロ・ジャパニーズと呼ぶのと同じ、オランダ風という意味です。ナントの勅令廃止でフランスを逃れたなかにダニエル・マローがいた。彼は、ルイ14世の宮廷家具師アンドレ・シャルル・ブールの工房で修業を積み、ブール様式の洗練されたフランスのバロック様式の家具のデザインをマスターした傑出した人物で、オランダに逃れた後、ウィリアムについてイギリスに渡りバロックをイギリスにもたらした。彼は家具のデザインを7000枚もの銅版に残している。



ウィリアム3世



この時代からオークに替りウォールナットになった。脚はトランペット型

その洋式はアメリカにも渡りボストンから、オランダの領土でもあったニューヨークでも大いに流行した。

■ イベント情報 ART / ROOM 展「インテリアへの提案」

アートフロントギャラリー (http://www.artfront.co.jp) からの住空間への新しい提案です。会期中、テーマごとに順次展示が変わります。 入場無料

会期：2004年2月18日(水)～5月9日(日) (月曜日定休) 11:00～18:00  
 会場：ヒルサイドギャラリー

ヒルサイドテラス A 棟

○ 3月2～14日 書斎のピカソとキタイ  
 作品作家：ピカソ、キタイ、クリスト 他  
 家具デザイナー：レラ&マッシモ・ヴィニエリ、ヤコブセン、他

○ 3月16～28日 和の感覚  
 作品作家：タピエス、船田玉樹、田中芳他  
 家具デザイナー：イサム・ノグチ、ポール・ケアホルム、他

○ 3月30日～4月11日 プリミティブの衝撃  
 作品作家：李禹煥、氏家慶二 他  
 出品作品：アフリカ彫刻・織物・壺、他

○ 4月13～25日 スローリビング  
 作品作家：祐成勝枝、ソル・ルイット 他  
 家具デザイナー：フィリップ・スタルク

○ 4月27日～5月9日 パワーアート  
 作品作家：川俣正、粟津潔、白井美穂 他  
 家具デザイナー：カステリオーニ、妹島和世

\* 展示予定の作品・家具等は都合により変更されることがあります。

展覧会へのお問い合わせは下記までお願い致します

■ アートフロントギャラリー ART / ROOM 展担当

TEL:03-3476-4868 FAX:03-3476-4874  
 E-MAIL: artfront@artfront.co.jp

■ ヤマガワ(株) 広報室  
 TEL:03-3253-5111 (代表)

FAX:03-5210-5473  
 E-MAIL: press@yamagiwa.co.jp

■ 「JID 本部教育研究委員会活動報告会」のご案内

JID教育研究委員会の報告会が開かれます。JIPATの「インテリアから住まいを考える会」も活動報告を村

口峯子氏がされます。何方でも無料で参加可能、報告内容に興味の持てるものも多いと思います。

<グループ別テーマ報告>

○ Aグループ：小学校「総合的な学習の時間」のインテリア教育報告  
 本部教育研究委員会 Aグループ 委員長 鈴木儀雄

○ Bグループ：「ルームシェアする若者たち」調査報告  
 本部教育研究委員会 Bグループ 委員長 藤原啓克

○ Cグループ：「ヒューマニジングデザイン」に関する活動報告  
 本部教育研究委員会 Cグループ 委員長 藤川征輝

○ JID 登録研究：

1. ユニバーサルデザイン研究会活動報告 会員 東島昌子、金子妙子

1. インテリアから住まいを考える会活動報告 会員 村口峯子

・開催日時：2004年3月26日(金) PM 6:00～8:30  
 ・定員：60名(先着順)

※キャンセルの場合は必ず JID 本部事務局 (TEL:03-5322-6560) へご連絡下さい。

・場所：リリカラ会議室 新宿区西新宿7-5-20 TEL:03-3366-7824  
 ・参加費：無料(研究資料がもらえます)

・参加申込：ID 本部事務局 FAX:03-5322-6559 Email: head@jid.or.jp  
 問い合わせ

・主催：社団法人日本インテリアデザイナー協会 本部教育研究委員会  
 ・後援：リリカラ株式会社

■ 「スペイン・ホームテキスタイル展示会」開催

過去最多の20社が来日し、ヨーロッパの最新トレンドを東京で紹介致します。

●日時：2004年3月30日(火)～4月1日(木)10:00～17:00(最終日は16:00終了)

●場所：池袋サンシャインシティ  
 ワールドインポートマートビル6階 M-2ホール 東京都豊島区東池袋3-1-3

●入場：無料(一般消費者の方のご入場はお断り致します)

出展品目：カーテン生地、レースカーテン、家具用張り地、ベッドカバー、ベッドリネン、テーブルリネン、タオル、毛布、カーペット等、出展社数：20社 当館のホームページにて詳しく紹介しています。

今月半ば頃に、出展社カタログを郵送いたします。 http://www.mcx.es/tokio/

主催：スペインホームテキスタイル協会、スペイン国大使館経済商務部  
 問い合わせ：スペイン国大使館経済商務部 担当：大越(おおこし)

Tel. 03-3222-3555  
 Fax. 03-3222-3550

■ 情報委員会からのお知らせ

5月29日の10周年記念総会にあわせ、新しい会員名簿が発行されます。つきましては、会員皆様の記載事項の確認を行いたいと思います。後日、事務局より名簿記載事項確認のための用紙が届きますので、ご記入、ご返送をよろしくお願い致します。

■ 編集後記

JIPAT10周年記念総会の準備が着々と進んでいます。ニューズレターでも会員の皆様に関心を持っていただけるよう、準備の経過などをタイムリーにお届けして来ましたが、皆で10周年を盛り立てていきましょう